



たまねぎ



発行日：令和4年7月8日

1. 卸売価格の動向

○187円/kg (7月5日)

➤ 平年比：180%

○7月の価格見通し

高値水準で推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○448円/kg (6月全国平均)

➤ 前月比：88%、平年比：212%

➤ 東京：326円（3玉）

➤ 大阪：121円（1玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：7/20（前月7/20）

➤ 大阪：5/10（前月6/10）

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○436g/人 (5月全国平均)

➤ 前月比：99%

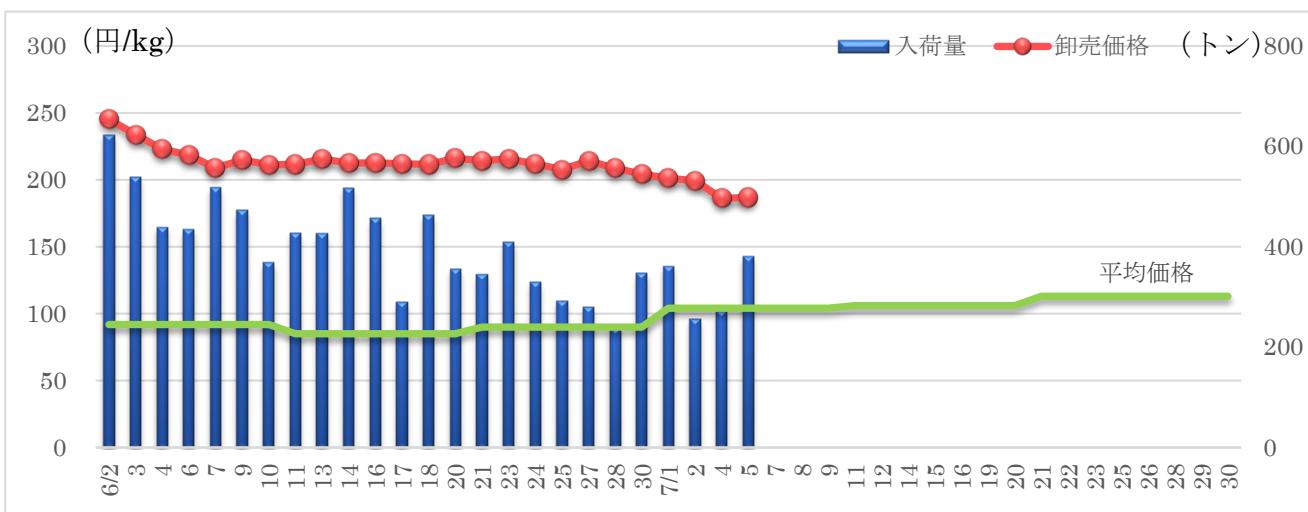
➤ 前年同月比：79%

○5,699g/人 (2021年年間)

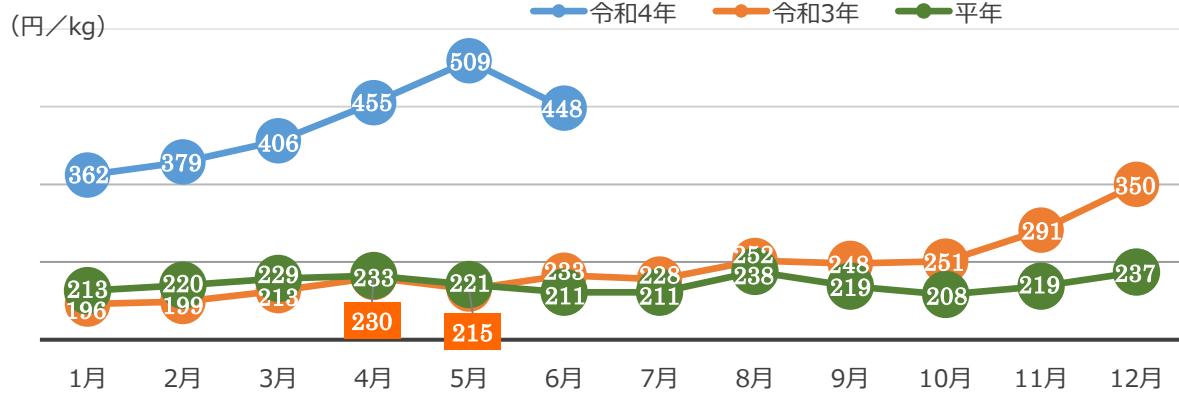
➤ 前年比：91%

(総務省統計局家計調査)

4. たまねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. たまねぎの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道岩見沢 (6/23)	前年並み	平年並み（ただし、地域差あり）	平年並み	－
栃木県真岡市 (6/17)	減少	やや不良	早い	早い
愛知県碧南市 (5/24)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
兵庫県淡路島 (3/24)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
香川県三豊 (6/13)	減少	平年並み	平年並み	早い
愛媛県西条市 (6/10)	減少	平年並み	やや遅い	平年並み
佐賀県白石 (5/2)	減少	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。

（機構調べ）



栃木県真岡市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報（7/2~7/29）

		週別の天候		
7/2~7/8		北・東・西日本では、高気圧に覆われやすい時期があるため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。		
7/9~7/15		北・東・西日本では、高気圧に覆われやすく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
7/16~7/29		北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低10並30高60% 高い見込み	少40並30多30% ほぼ平年並の見込み	少20並40多40% 平年並が多い見込み
	太平洋側		少40並30多30% ほぼ平年並の見込み	少20並40多40% 平年並が多い見込み
東日本	日本海側	低10並40高50% 高い見込み	少40並40多20% 平年並か少ない見込み	少20並40多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40並40多20% 平年並か少ない見込み	少20並40多40% 平年並か多い見込み
西日本	日本海側	低10並40高50% 高い見込み	少40並40多20% 平年並か少ない見込み	少20並40多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40並40多20% 平年並か少ない見込み	少20並40多40% 平年並か多い見込み

（気象庁1か月予報）

8. 輸入動向（生鮮たまねぎ）

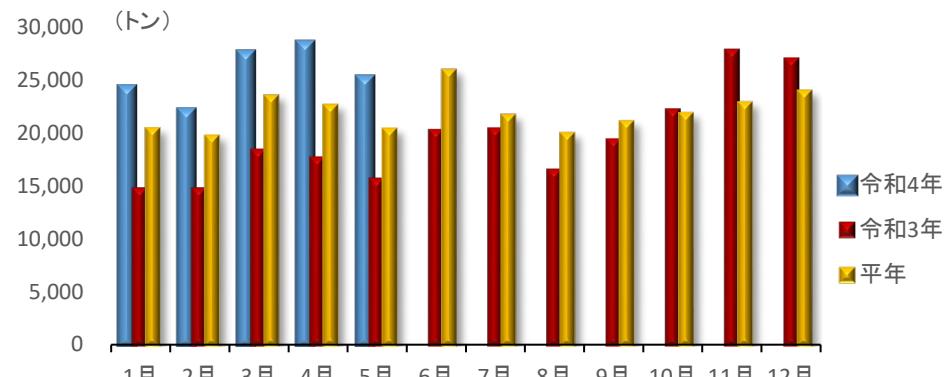
○25,108 t (5月輸入量)

➤ 前年同月比：160%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 20,027トン
- 2位 NZ 3,594トン
- 3位 オーストラリア 858トン

（財務省貿易統計）



9. 一口メモ

6月は、佐賀産が終盤に入り、兵庫産、香川産、後続の栃木などの関東産が小玉傾向であったことから入荷量は伸びず、市場価格は平年を上回りました。

7月は、下旬から北海道産の入荷が始まりますが、兵庫産などの生育は順調ながら小玉傾向の入荷となるため、市場入荷量は需要を満たしきれず、価格は高値になる見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793